Part 2 市場分析/ネットワーク

FTTHの100万回線突破も IP-VPNはADSL対応で加速

2002年のネットワークサービス市場は「ブロードバンド化」というキーワードに総括される。安価かつ高速な新サービスが、コンシューマー向け、企業向けともに爆発的な勢いで広がり、通信市場の構造を根本から覆し始めている。

まず、コンシューマー市場では、前年度から加速し始めたADSLサービスが一挙にステップアップし、「ブロードバンド＝ADSL」という図式をユーザーに植え付けた。

また、企業向けサービスでもIP-VPNが本格的な普及期に入る一方で、広域イーサネットサービスが急速に市場に浸透、従来の専用線、フレームリレー、セルリレー等のサービスからのリプレースが進み、市場は「新旧交代」の様相を呈している。

こうした市場の動向に対応し、キャリア各社も事業の主軸をブロードバンドサービスに定め、メニューの拡充と販売体制の強化を積極的に進めている。

ここでは、コンシューマー向けサービスとしてADSL、FTTH、企業向けサービスとしてIP-VPN、広域イーサネットサービスを中心に取り上げ、各サービスの需要がどのように変化するのかを見ていく。

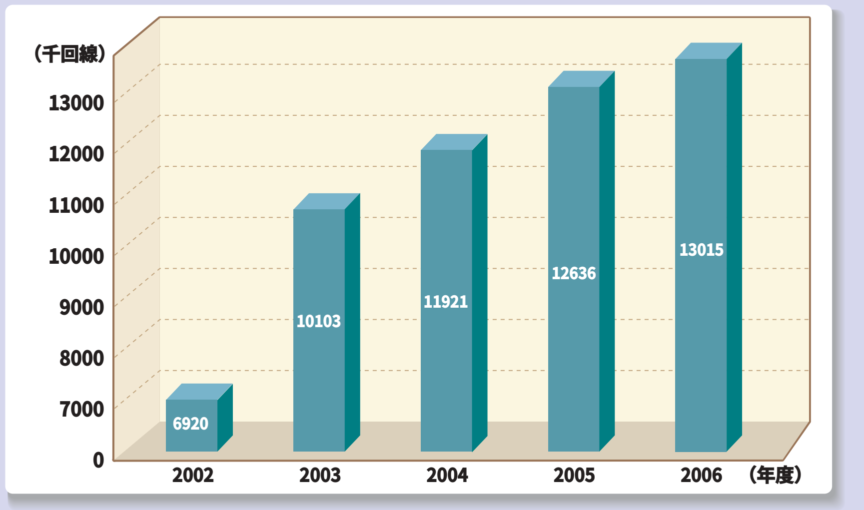
ADSLは3倍の成長を実現

●ADSLサービス

ADSLサービスは、2001年度実績の200万回線から大きな飛躍を見せ、2002年度末で692万回線に到達しそうな勢いを見せている。

同サービスが2002年に急激な伸びを実現できたのは「サービスメニューの拡充」に加え、「サービス提供各社の拡販戦略の強化」があげられる。

図1　ADSLサービスの普及予測



(編集部推計)

まず、サービスメニューの拡充から。ここでは、①高速化、②付加サービスメニューの登場──の2点がキーワードとなる。

高速化で先鞭をつけたのが、2002年8月から「Yahoo！BB12M」サービスを開始したYahoo！BB。これに続き、アッカ・ネットワークス、イー・アクセス、平成電電、NTT東西等、サービス提供各社が12Mbpsメニューを相次いで投入した。同時に料金値下げも各社が実施したことで、ユーザーからの引き合いが一気に加速した。

一方、付加サービスメニューとして、2002年の最大のトピックスとなったのが、ADSL回線を利用した「IP電話サービス」の登場だ。ここでもYahoo！BBが2002年4月から「BBフォン」の商用サービスを開始。当初は別料金が発生するオプションサービスとしていたが、同社のADSLサービスの基本メニューに組み込んだことで加入を促進した。実際にYahoo！BBの回線数は昨年7月の77万9000から12月末時点で169万1000と、倍以上の伸びを見せており、BBフォンの利用者数も31万9000から129万4000と4倍以上を実現している。こうした動きに追随し、各社も自社サービスにIP電話メニューを投入しサービス強化を進めている。

販売攻勢が実績を左右

サービスメニューの拡充に加え、販促攻勢が市場を活性化したことは間違いない。

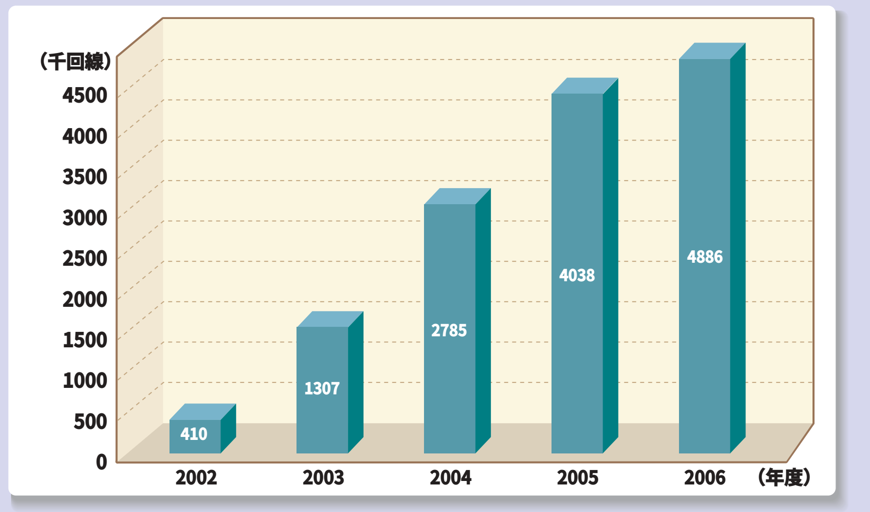
「各社の営業体制の強化がそのまま加入者の伸びに反映された」（野村総合研究所・コンサルティング部門情報・通信コンサルティング部の寺田知太副主任コンサルタント）といわれるように、各社はテレビCMや新聞広告等マス媒体による販促策から、エンドユーザーへの直接アタックを開始、熾烈なユーザー獲得合戦が展開された。Yahoo！BBが主要な駅や街頭でADSLモデムを配布し加入を促す「パラソル隊」によるキャンペーン活動がその典型だ。

また、NTT東日本・営業推進部光IP販売推進室光IP商品担当の滝澤正浩担当課長が「従来、インバウンド系の申し込みを中心としていたが、昨年秋から量販店との積極的な提携を進め、ユーザーが直接目に触れることができる申し込みコーナーの設置、拡充を行ってきた」と語るように、提供各社では営業戦略面での強化を進めている。

こうした“露出策”が功を奏し、初心者層を中心にADSLサービスへの加入が促進されている。

ADSLサービスは2003年も伸びを継続しそうだ。「成長を抑止する要因は現段階で見えていない。月間30万平均の伸びは2003年度も続くだろう」（NTT東日本・サービス開発部フレッツサービス推進室の日森敏泰担当課長）という見方のように、2002年の成長気運を引き続き継承し、年度末には1300万加入までに達すると予想される。

図2　FTTHサービスの普及予測



(編集部推計)

ここでも引き続き高速化と付加価値化が競争の焦点となりそうだ。

前者については、春以降、16M/24Mbpsの高速メニューの登場が予想されている。

また付加価値化については、Yahoo！BBに追随し、アッカ・ネットワークス、イー・アクセス、NTT東西各社がIP電話サービス対応のモデム端末機器をユーザーに配布し自社サービスにIP電話サービスを取り込んでいく構えだ。さらに、「050」のIP電話専用番号を付した新メニューの登場も引き金となり、IP電話サービスは“キラーアプリケーション”としてADSL市場を牽引していくと思われる。

サービス面の拡充が進む中で、事業者間の営業攻勢もより激しさを増しそうだ。野村総合研究所の寺田副主任コンサルタントは、「サービスがいったん市場に浸透した後には、他社サービスからの顧客奪取や、逆に自社サービスのリプレース防止等、これまで以上に熾烈な“シェア争奪戦”が展開される」と語る。

FTTHは2003年に萌芽

●FTTHサービス

一方、2002年度のFTTHサービスは約41万回線で着地する見込みだ。コンシューマー市場ではADSLとともにブロードバンドの代表的サービスとして期待されたFTTHサービスだが、サービス提供各社が相次いで2002年度の加入目標を下方修正する等、事業者が期待するほどの成長を見せることはできなかった。

その主な理由として、①提供エリ